

# やまがた 議会だより

平成28年7月

No.117

発行 〒390-1301 長野県山形村議会（代表 平沢恒雄）  
編集 議会広報編集特別委員会 TEL0263-98-3111 FAX0263-98-3078



## 雨水被害調査のため中島副知事および清沢県議 来村

- |                |        |       |          |
|----------------|--------|-------|----------|
| ■第2回議会定例会      | .....2 | ■一般質問 | .....4~7 |
| ■主な議案          | .....2 | ■議会日誌 | .....7   |
| ■東筑摩郡5村議会議員交流会 | .....3 | ■私の一言 | .....8   |

# 平成28年 第2回 議会定例会

平成28年山形村議会第2回定例会が6月8日開会し16日まで9日間開催された。

平成28年度一般会計補正予算など3議案を可決、前任者の辞任に伴う教育委員長任命に同意を求める人事案に同意、防災行政無線整備特別委員会が、緊急告知放送を当初案の戸別受信機方式から屋外スピーカー方式に変更するとの村長提案を「妥当と思われる。」との審査報告がされた。

請願、陳情関係は義務教育費国庫負担制度の堅持を求める請願を採択し、意見書を内閣総理大臣、衆参議長等へ提出することを可決した。一般質問は10人が登壇し、2日にわたり村政全般について質問した。

(増澤 武志)

## 補正予算

○平成28年度一般会計補

正予算(第2号)

歳入歳出総額に5千9百95万2千円追加し総額を37億6千3百85万円とするもの。

### 雨水被害関連

- ・林道への倒木撤去に2百59万円
- ・村道のガードレール修繕に9百36万円
- ・スカイランドきよみずのサウナヒーター更新工事等に千百19万円

## 農業関係

・長いも網室整備に、3

百50万円(県補助金2百50万円を充当)

・波田ライスセンター更新に4百47万円

## 小学校

・渡廊下の雨漏対策工事に百19万円

・給食室ボイラー更新工事等3百39万円

## トレーニングセンター

・駐車場の水たまり解消舗装工事に百51万円

## 報告

○第2号

平成27年度山形村一般会計繰越明許費繰越計算書

平成28年度に7千2百73万7千円を繰越すもの。

○第3号

防災行政無線整備特別委員会の審議結果について

緊急告知放送を「戸別受信機方式」から「屋外スピーカー方式」へ転換する新たな村長提案は妥当と思われる。

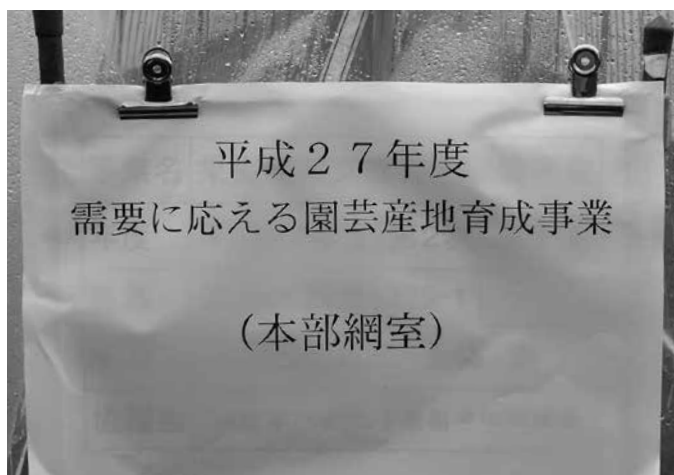
## 同意

○教育委員の任命

平林昌廣氏(上大池)を同意

## 請願

義務教育費国庫負担制度の堅持を求める請願を採択、議員発議により意見書を内閣総理大臣、衆参議長他宛て提出すること。



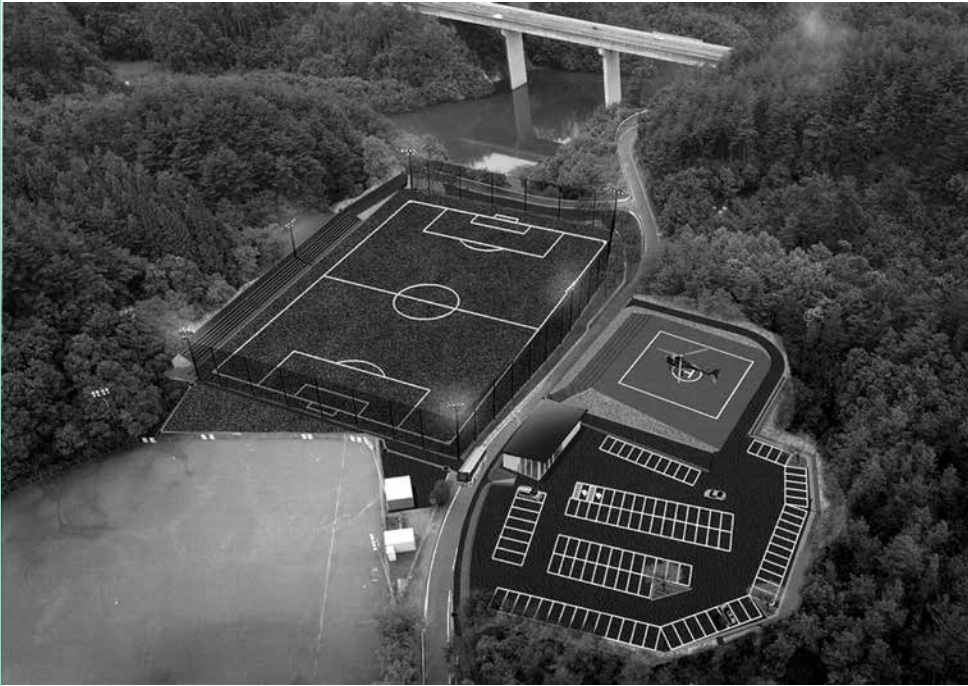
平成27年度需要に応える園芸産地育成事業(長いも網室本部)

# 東筑摩郡5村議会議員交流会

## 筑北村特定地区公園

### 整備事業計画

避難場所に指定されている運動公園を3年かけて改修し、ヘリポート等を備えた防災拠点として機能させる。合わせて村民のスポーツ普及促進で地域活性化を目指す。



防災拠点 完成イメージ

## 地域と一体になって

7月1日に東筑摩郡5村議会議員交流会が筑北村で開催された。今回は筑北村の地域活性化の取り組みについて研修を行なった。

最初に3村合併後の人口減少に対する、出生祝い金や保育料無償化の取組みなどの子育て支援や、運動公園改修による防災拠点整備計画などの説明を受け、続いて高校誘致による活性化策の紹介を受けた。

高校誘致は、村内3校あった小学校を2つに統合することになり、旧坂北小と



全員1年生の野球部員と中原監督

旧本城小を統合し平成27年4月より筑北小として旧坂北小校舎で開校した。これにより空いてくる旧本城小校舎の利活用について



旧本城小を利用した校舎

検討、日本各地で広域通信制・単位制の高校などの運営を行なっている学校法人と協議をして、平成28年4月より、日本ウェルネス高校信州筑北キャンパスとしてスポーツコースの蹴球部伊藤雅範監督・野球部中原英孝監督を迎え開校した。

これにより筑北村では、生徒・職員などの人口増加、村民と一体感を持った後援会などを通じた交流、スポーツを通じた健康増進、学校の活躍による村の知名度アップで地域経済の活性化など多くの期待が寄せられている。

(新居 禎三)

そこが聞きたい

一般質問

6月議会定例会は9・10日の2日間に一般質問が行なわれ、村政全般に亘って10人が質問した。

## 山形村の発展のために

村長 職員間の情報共有化を



赤羽千秋 議員

**Q** 第三次山形村環境基本計画を遂行していくための役場職員のスキルアップについて。

**A** 村長 職員用の庁内掲示板を通じて、計画書を電子データで閲覧できる状況とし、職員間で情報共有をしている。地球温暖化対策の環境問題に対する職員の具体的な取り組みとしては、日常業務において「空調、給排水、給湯、証明、事務機器、公用車の使用」の項目ごとに、環境に配

慮した使用方法を心掛け、用紙類の削減やプラスチック類のリサイクルなど省資源の推進を図っている。

**Q** 環境基本計画に対する職員の研修は、一人ひとりの取り組みが積極的に実行されるよう促し、研修については、今後検討したい。

**A** 村長 日頃の職員一人ひとりの取り組みが積極的に実行されるよう促し、研修については、今後検討したい。



リサイクルボックス

## 職員の質や能力に不安を感じる

村長 人材育成は最も重要な課題



増澤武志 議員

でも状況を聞いたがいずれも「なし」であった。この間何ら手をつけていない。改革するならば、村長が職員に命令することが必要だ。

**A** 村長 仕組みを変えて使いやすいようにする。

**Q** 職員研修は体系化しているのか。

**A** 総務課長 体系化していない。他市町村の研修を参考に取入れたい。特に新採職員研

**Q** 職員提案制度は私りが過去2回、今議会

## 人口減少時代の総合計画について

村長 健康寿命延伸の村づくりを推進



上条浩堂 議員

**Q** え、中期の展望を伺

う。

**A** 村長 今後20年後の人口は4百人減少の微減と予測している。

2025年には後期高齢者がピークに達し、社会保障費や福祉関連費が増大するのが確実なので、

修は独自に取り組みたい。新人職員に現場研修をするつもりはあるか。

**A** 副村長 広い視点で社会を見ることが必要だ。全職員で文書配布していることも一つの事例だ。

**Q** 人事評価制度に業績評価が導入された。

**A** 村長 組織目標と個人目標を設定し、評価者と3回の面談を通じて仕事の達成を目指すよう取り組んでいる。

**Q** 業績評価は、仕事の進捗を課長と共有することで、悩みを抱えて苦しむ職員を救うこと

施設や介護事業を増やすことは財政の圧迫となる。従って、対策の一環として健康寿命延伸の村づくりを行なっていく。

中期の展望としては、総合戦略に基本体系として

①農業をはじめとする地域産業の振興と雇用の創出

②豊かな自然と観光。交流資源を生かし新

③子育て・教育環境を整え、村の宝・人の育成

④活発な住民活動と立地を生かした明るく元気な村づくりにたいしては、安全・安心な生活環境を整え、防災・減災の対策を充実させる。

の4本柱を立てた。

ができる。過去、自ら命を絶つた事例もある。もっと早くすべきだった。研修講師を内部で行なうことを提案する。

**A** 村長 私も職員の前で話す機会がない。村長だけでなく課長も職員に話すことは貴重なものだ。

18歳選挙権について

**Q** 若者の投票率向上対策は。

**A** 選挙管理委員長 若者の投票立会人を募集している。

しい人の流れ創出

元気な村づくりにたいしては、安全・安心な生活環境を整え、防災・減災の対策を充実させる。

の4本柱を立てた。

の4本柱を立てた。

の4本柱を立てた。

の4本柱を立てた。

の4本柱を立てた。

## 村道東12号線交差点の排水改善策は

村長「県営畑地帯総合土地改良事業」で対応



竹野入恒夫 議員

Q 村道東12号線は、役場東側の県道交差点から東のグリーン道路

へ向かう道路で、全長でおよそ「千三百メートル」あり、幅員も片側一車線ずつが確保されている広い道路だ。この間に南北に縦断する道路が12ヶ所あり、その内舗装されている道路が8ヶ所ある。1ヶ所の交差点だけ

が、排水の設備が整備されている。7ヶ所の交差点では、雪解け水・雨水・そして、晴天が続いた時のスプリンクラーの水が交差点に溜まり、それを避けて運転する人が目立ち、危険である。この交差点の排水を改善する対策は。

Q 村長 道路自体、交差点箇所勾配修正をすることは難しい。農地整備サイドで長年、県に要望してきた結果、畑地灌漑地区の道路排

水対策事業実施」の見通しが立ち、「県営畑地帯総合土地改良事業」で対応していく方針だ。具体的には、来年度に測量設計を行ない、平成30年度以降に工事実施を考えている。その他に、「防災行政無線整備」「連絡班」について質問した。

## 先進地事例に学ぶ村づくりは

村長 常に住民目線で取り組んでいる



三澤一男 議員

Q 観光について地域間交流は定着してきているが、今後の進め方を伺いたい。

A 村長 縛りのない観光交流をお願いしているが、交流が定着してきたら、発展的に観光振興で友好都市として提携しても良いと思ってい

る。また、山形村ふれあい観光大使の任命をすることも大事だと思っ

Q 住居を構えなくても村の一員として山形村を愛する方に協力していただく「ふるさと納税」について伺いたい。

A 村長 返礼品として地元農産品を贈っている。

新たな活力と交流の創

出を進めるなかで、村の魅力を高めながら、村出身の方や、近隣の方、関係する皆様などによる「純粋に山形村を愛する方による納税」を増やしていきたいと考えている。



その他に、村職員に仕事に対する心構え、住民サービスを村長はどのように指導しているかを質問し、事例として北海道の東川町を参考にして村長の考えを質問した。

## 職員提案制度の現況と展望は

村長「ヒヤリハット事例報告制度」導入に向けた検討を進める



大月民夫 議員

Q 職員の事務事業の改善に対する意欲と研究心の向上を図り、職員相互間の連携強化に結びつく等、多大な効果が期待される「職員提案制度」の現況と展望を伺う。

Q 近年の提案提出状況は。

A 村長 平成22年を最後に、職員の提案は出されていない。提案促進月間を設

定する等、今後の展望は。

A 村長 近年の状況から、制度自体の認識が薄くなっていると思

われる、職員から執務上における創意工夫に関する積極的な提案を求める

ことについて、周知・啓蒙していきたい。

Q 「ヒヤリハット事例報告制度」の前進が所見は。

A 村長 行政事務の改善と能率の向上のためにも、具体的な「ヒヤリハット事例」があるいは「ハット事例」ハット事例を共有することで、職員への啓発につながるのと、ヒヤリハット報告制度のシステム作りを行ない、ルールなども整備したうえで、導入に向けて検討を進めていきたい。

その他に「保育園通園バス」について、5歳児も希望する世帯は乗車を可能とする検討を求めた。

## 山形じゃんずりの課題への対応は

村長 安全に責任持てる規模で祭りを行なう



新居 禎三 議員

**Q** 多くの村民が楽しみにしている、山形じゃんずらだが、昨年は多くの方がお越しになり、駐車場や交通安全など多くの課題が見えてきた。本年度の対策はどのように行なうのか。

**A** 村長 祭りが盛大に行なわれるのは、喜ばしいことだが、祭り本来の目的に沿って村民のための祭りにしたい。花火大会目当てに近隣から多くの方が見えるので、花火の縮小などで混雑緩和を図っていききたい。

**Q** 駐車場対策は、巡回バスやシャトルバス等で、自家用車利用の抑制を考えないのか。

**A** 教育長 ちらしやマスクミ等の広報で



車利用の抑制を図ってきたい。

**Q** 交通安全対策などはどうのように考えているのか。

**A** 村長 警備員の増員などで、危険回避の対策を行ない、安全で事故のないようにして、山形じゃんずらを継続していきたい。

その他に、公共的な移動手段について、質問した。

## 山形村の公契約条例の制定について

長 研究課題として、前向きに考えて、村進めていきたい



籠田 利男 議員

**Q** 公契約条例によって村内の建設業の健全な発展と、建設業従事者の減少を食い止める対策の考えは。

**A** 村長 公契約条例については前向きに考え、早い段階で進めて行きたい。また、住宅リフォーム事業の継続や、高齢者の住宅改良、住宅の耐震補強等推し進め、仕事量の確保に努めたい。

## 主権者教育をどう進めるか

教育長 コミュニティスクールの継続・発展で



大池 俊子 議員

**Q** 山形村では「主権者教育」だけでなく、「主権者教育」をどう進めていくか。

**A** 教育長 主権者としての意識を持つには、社会の中で多くの人と連携・協働し社会の構成員として地域の課題解決を主体的に担える力をも身につけることが必要。現在、山形小学校は、コミュニティスクールとして学校・家庭・地域が一

## 雨水被害について

**Q** 国、県への雨水災害の復旧要望について

**A** 村長 清沢県議の仲介で、中島副知事が山形村に見えるので、村内状況を確認してもらいたい要望をしたい。

## 通学道路の管理について

**Q** 鉢盛中学校の通学道路で、自転車の転倒事故により大怪我をさ

れた事例がある。対応策をお聞きしたい。

**A** 教育長 危険箇所を把握し対応を図っていく取り組みが必要と考える。「通学路安全推進会議」といった組織を設け、改善を図っていき



一つとして副読本としての活用を目的にしたもの。

**Q** 新たに18歳になる有権者への配布は。

**A** 教育長 現在考えていない。選挙管理委員会には、選挙広報の手段として活用する場合、必要数を配布する予定。

その他にふるさと伝承館・人事評価制度について、質問した。

# 小学校老朽化に伴う 改修及び修繕について

教育長  
小学校から申し出があれば修理する



西牧一敏 議員

**Q** 山形小学校は、既に築30年を過ぎている。5百有余名の全校児童が毎日使用していると、消耗する設備、備品もかなり多くなると思うが、毎日の点検はしているのか。

**A** 低学年の教室では外のサッシから隙間風が教室に入るため、目張りをしてある教室もあると聞く。教育長は認識しているのか。

**A** 教育長 修繕するカ所については、「学校保健安全法」により、校長が必要な措置を講じるか、校長から設置者の村長に申し出ることが定められている。以上

により毎年度予算に計上し不具合のあるものについて、その都度修繕を行なっている。

**Q** 低学年のホールは、採光のため大きなガラス窓になっているが、あまりに大きく、割れると危険である。改善する考えはないのか。また、校舎の新築・改築は考えていないのか。

**A** 教育長 平成24年度にガラス窓に飛散防止フィルムを貼り防止策を講じた。

新築・改築については、文科省の定めた耐用年数60年が経過する時点で検討されるものと思われる。現在、公共施設は延命措置を講じ、長寿命化に向けて計画的に改良事業を実施することが必要と考えられる。

## 議会日誌

### △4月▽

- 2日 中京地区村人会（名古屋市）  
議長
- 4日 山形保育園入園式  
議長、福祉文教常任委員
- 5日 小学校入学式  
議長、福祉文教常任委員  
鉢盛中学校入学式  
議長、福祉文教常任委員
- 8日 福祉文教常任委員会  
消防団春季総合訓練  
議長、副議長、総務産業常任委員
- 9日 総務産業常任委員会  
交通安全協会総会  
議長
- 12日 総務産業常任委員会  
交通安全協会総会  
議長
- 16日 さくらの下コンサート  
議長
- 18日 定例全員協議会  
議会運営委員会  
第3回臨時議会  
防災行政無線整備特別委員会  
小学校歓迎会  
議長、福祉文教常任委員
- 22日

### △5月▽

- 1日 清水寺八十八夜例祭  
清水寺絆会から書の寄贈（県庁）  
議長
- 2日 鉢盛中学校歓迎会  
議長、福祉文教常任委員
- 6日 議会広報編集特別委員会  
戦没者・海外移住物故者慰霊祭  
下水道処理場の運転に関する協議会（朝日村）  
議長、総務産業常任委員
- 10日 総務産業常任委員会  
商工会総会  
議長、総務産業常任委員
- 12日 総務産業常任委員会  
夏祭り山形じゃんずら幹事会  
議長
- 20日

### △6月▽

- 23日 議長  
社会福祉協議会理事
- 25日 花壇づくり  
議長
- 26日 定例全員協議会  
観光協会総会  
議長、総務産業常任委員
- 27日 JA松本ハイランド  
総代会  
議長
- 30、31日 全国町村議長・副議長研修会（東京）  
議長、副議長
- 31日 中部縦貫自動車道建設・国道158号整備促進期成同盟会総会（松本市）  
総務産業常任委員長  
社会福祉協議会評議員会  
副議長、福祉文教常任委員長

### △7月▽

- 1日 東筑摩郡村議会議員交流会（筑北村）  
議長、福祉文教常任委員
- 7日 鉢盛中学校組合議会  
第1回臨時会（朝日村）  
議長、福祉文教常任委員
- 13日 総務産業常任委員会  
福祉文教常任委員会  
雨水被害現地調査（中島副知事来村）  
議長、副議長、総務産業常任委員長
- 14日
- 15日
- 16日 定例会閉会
- 18日 合同障がい者スポーツ大会（やまびこドーム）  
議長、福祉文教常任委員
- 27日 議会広報編集特別委員会  
道祖神と新そば祭り  
幹事会  
議長、総務産業常任委員
- 29日 小学校音楽会  
議長、福祉文教常任委員



## 共存していく

### 事の楽しさ

真野 徹

(下竹田)

す。

何年前かに山形村に帰ってきて6年ほど前から、信毎山形営業所で勤めさせていたいただいており  
ます。

日々地域の方々とおふれ合うことが心地よく、楽しみになっていることを

実感しているのですが、昔と何が変わったのでしょうか。

おそらく変わったのは自分の心の持ち様だと思います。

今は、「人と人との共存の中でしか生きられない。」ということであらためて実感し、そして、それが楽しく、また、山形村という場所が大好きで仕方ありません。

## 旬の味

オバマ大統領が現職の米国大統領として初めて広島市を訪れ、「太平洋戦争を早期終結に導いた」と言われている原爆の被爆地で犠牲者を追悼した。この決断を心から歓迎したい。しかしながら被爆地の広島市、長崎市や一部の国が提唱する核兵器禁止条約に日本が賛同していないのが実情だ。唯一の被爆国日本も現実を直視し、新たな行動を起こすことが「核なき世界」を説得力のあるものにしていくのではないかな。

6月5日には第67回全国植樹祭の式典が行なわれた。天皇、皇后両陛下も出席され植樹をいただいた。積極的に森林再生活動に取り組み信州。活動が実を結び、豊かで美しい森林を維持、発展していけることを期待する。

山形村の森林では1月の雨水被害が78・4%に上った。6月15日に中島恵理副知事が現地視察に訪れ、倒木の状況を確認した。梅雨に入り二次災害が心配されるため、一刻も早い補助をお願いしたいところである。村では第三次山形村環境基本計画（H28年度〜32年度）が策定された。雨水対策こそが環境計画の第一歩だと考える。行政と住民が一体となって、緑豊かな、心豊かな山形村へと「歩み」を進めていきたい。

赤羽 千秋

## キャッチボール

## 私の一言

私は、高校を卒業すると共に東京へ行きまし  
た。大好きだった音楽を  
思う存分勉強し、自分を  
試したいと思う反面、こ  
の田舎から一刻も早く出  
たいという気持ちもあり  
ました。



## 「第二の故郷」

### 山形村

塙 和貴

(上竹田)

私の生まれ故郷は福島  
県福島市です。色んなご  
縁があって、信州に移り  
住んで丸10年を迎えまし  
た。

山形村では、2014  
年4月に「そば処木鶏  
(もっけい)」をオープ  
ンしました。福島県出身  
の私が、何のご縁もなか

った信州で、夢だったそ  
ば屋を開業できたのは、  
出逢い支えてくださった  
方々のおかげ様です。こ  
の山形村が第二の故郷と  
呼べるように、地域に根  
差した活動をしていきたく  
と思います。

## 編集後記

懸案であった防災行政無線は、屋外スピーカー方式に変更となった。

3月定例会で、村長から提案された戸別受信機方式に伴うアンテナ設置に異議が出され、総務産業常任委員会で予算案の修正が可決された。本会議では「住民ニーズを把握した事業にする」との付帯決議を付して原案通り予算を可決した。

これを受けて防災行政無線整備特別委員会を設置、審議されたの結果である。村民の要望に基づき、議会が政策の方向をただしたものと見える。

更に今議会は、一般質問を2日間  
わたり行なった。各議員に与えられた  
持ち時間を存分に使えることにより、  
充実した質問ができるのである。しか  
し、その内容は個々の議員の頑張りによ  
る。日々の努力が村民に伝わるよう  
な議員活動となるよう努めたい。

(籠田 利男)

## 議会広報編集特別委員会

委員長	籠田 利男
副委員長	小林 武司
委員	新居 禎三
委員	増澤 武志
委員	大月 民夫
委員	平沢 恒雄